

安全データシート (SDS)

作成 2021年4月1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称 残留塩素校正試薬B
(主成分 酢酸)

製品用途 残留塩素校正キット用試薬 (よう素滴定用試薬)

会社情報

会社名 株式会社 イワキ
住 所 埼玉県入間市野田1241-1
担 当 テクノエコー本部 品質管理担当
TEL. 04-2931-1271 FAX. 04-2931-1276

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経皮) : 区分4

皮膚腐食性及び刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1 (血液、呼吸器系)

環境有害性

水性環境有害性 (急性) : 区分3

(※) 記載なきGHS分類項目及び区分は「該当せず」「分類対象外」「区分外」「分類できない」

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

血液、呼吸器系の障害

水生生物に有害

注意書き

安全対策

容器を密閉しておくこと。ガス、ミスト、蒸気、スプレートの吸入を避けること。取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。

この製品を使用する時に飲食・喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚 (又は髪) に付着した場合、直ちに汚染した衣類を全て脱ぎ捨て、十分に流水/シャワーで洗い流し、石鹸で洗うこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

ばく露又はばく露が懸念される場合は、医師の診断を受け必要な処置を受けること。

貯蔵

使用後は所定の携行カバンに収納すること。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物、容器を地方・国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 混合物

成分	含有量	化学式	CAS番号	化審法番号	
酢酸	約 50%	C2H4O2	64-19-7	2-688	【労働安全衛生法 表示・通知対象物】
水	約 50%	H2O	7732-18-5	-	

4. 応急措置

一般的な措置

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚 (又は髪) に付着した場合、

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合、

医師の診断・手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

咽頭痛、咳、灼熱感、頭痛、めまい、息切れ、息苦しさ、腹痛、嘔吐、ショック、虚脱

(皮膚に付着もしくは眼に入った場合の症状)

痛み、発赤、水疱、目の充血、重度の熱傷、視力喪失

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

消火活動は風上から行い、適切な呼吸保護具、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

下水溝に流れ込むと火災・爆発の危険性がある。

屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発を起こす危険がある。

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏洩物を回収すること。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的な対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入してはならない。

(火災・爆発の防止)

熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。

局所排気、全体換気

排気・換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気を吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣、保護面、保護眼鏡を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 データなし

許容濃度 酢酸

日本産衛学会(1978) 10ppm : 25mg/m³

ACGIH(2003) TWA 10ppm

STEL 15ppm (上気道及び眼刺激、肺機能)

OSHA-PEL TWA 10ppm : 25mg/m³

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で行う。

洗眼設備を設ける。

手洗い・洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

空気呼吸器 (SCBA) を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。(推奨材質 プチルゴム)

手袋 (個人保護具メーカーに適切な材料の選択について問い合わせる)

眼の保護具

化学用品用ゴーグルを着用する。

保護眼鏡・顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 液体

色 : 無色透明

臭い : 刺激臭

pH : 2.4 (酢酸1.0M溶液のとき)

初留点/沸点 : データなし

融点/凝固点 : データなし

分解温度 : データなし

引火点 : 引火性はない

自然発火温度 : 燃焼性はない

爆発特性 : 酢酸で 下限 6.0vol% 上限17vol%

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

比重・密度 : 約1.06g/mL

粘度 : 水と同等

溶解度 : 水に対する溶解度 : 易溶

10. 安定性及び反応性

安定性

重合暴走反応は生じない

化学的安定性

通常の保管条件・取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸化剤、アルカリと反応する。

多くの金属を腐食する。

避けるべき条件

日光、熱

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化性物質、金属

危険有害な分解生成物

炭素生成物 (一酸化炭素、炭酸ガス)

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性 (経口)

区分4 酢酸 rat LD50=3310mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性 (経皮)

酢酸 rabbit LD50=1060mg/kg (PATTY 5th, 2001)

局所考果

皮膚腐食性・刺激性

区分1 酢酸 ヲビット/モット 重度の熱傷 (PATTY 5th, 2001et al.)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

区分1 酢酸 Rabbit 永続的角膜損傷 (IUCLID, 2000et al.)

感作性 データなし

生殖細胞変異原性

酢酸 復帰突然変異原性試験 (E-ムス試験) : 陰性 (PATTY 5th, 2001)

酢酸 染色体異常試験 : 陰性 (CHO細胞 : PATTY 5th 2001)

発がん性 データなし

生殖毒性 データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延／慢性影響

特定標的臓器毒性

区分1 酢酸 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：血液、呼吸器系（ACGIH, 2004）

吸引力呼吸器有害性 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性 水生生物に有害

区分3 水生毒性（急性） 酢酸 甲殻類（オオミジンコ）EC50=65mg/L/48hr (Aquire, 2010)

水溶解度

酢酸 混和する (ICSC, 2010)

残留性・分解性

酢酸 BODIによる分解度 74% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

酢酸 log Pow=-0.17 (PHYSPROP DB, 2005)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物・容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 2790

品名 酢酸（濃度が50質量%以上80質量%以下のもの）

ACETIC ACID SOLUTION not less than 50% but not more than 80% acid, by mass

国連分類（輸送における危険有害性リスク） クラス8

容器等級 II

指針番号 132

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険／有害物 酢酸（別表第9 No. 176）

名称通知危険／有害物 酢酸（別表第9 No. 176）

腐食性液体 酢酸（規則第326条）

化学物質管理促進（PRTR）法 該当しない

消防法 該当しない（酢酸50%品については引火点が見られず、危険物第4類には該当しない）

船舶安全法

腐食性物質 酢酸 分類8

航空法

腐食性物質 酢酸 分類8

16. その他の情報

参考文献および参照HP

GHS分類結果データベース NITE (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHSモデルSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

化学大辞典

共立出版

等

記載内容は作成時に入手できた情報に基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

記載データや評価について安全性を保証するものではありませんので取り扱いには充分注意してください。

注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。